

2017 年度

アメリカ派遣留学報告書

実習先：セントラルミズーリ州立大学

実習期間：8月23日（水）～12月9日（土）

新潟国際情報大学
国際文化学科
学籍番号：21016038
熊倉 知笑

目次

1	留学先及び実習期間	3
2	留学先概要	3
3	留学目的	3
4	留学内容	3
	4-1 留学のスケジュール	4
	4-2 留学の詳細	5
5	所感	7
6	おわりに	7
	謝辞	7

付録

	留学日誌	8
--	------	---

1 留学先及び実習期間

留学先：セントラルミズーリ州立大学

実習期間：8月23日（水）～12月8日（金）

※帰国は12月9日（土）

2 留学先概要

(1) 大学について

セントラルミズーリ大学はミズーリ州のウォレンズバーグという市に位置する。ウォレンズバーグはカンザスシティから東に約80キロ、人口約2万人ののどかな町で、治安は非常に安全である。1871年に創設され、5つの学部と1つの大学院を擁する州立の総合大学で、学生数は13,000名。また、世界57カ国、2,000名以上の留学生在籍している。広大なキャンパスには映画館やスポーツジム、チャペルなど様々な施設がある。

(2) 大学で行われている教育について

セントラルミズーリ州立大学は、質の高い教育を行っており、世界57カ国、全米43州からの学生が在籍している。今回お世話になったIEP（Intensive English Program）は、英語を母国語としない学生を対象に教育を行っている。9クラスにレベル分けされており、1stセメスター終了時に受けるテストの結果で次のクラスに上がれるか決まる。また、飛び級の試験を受けることも出来る。

3 留学目的

今回の留学の目的は、個人の英語力の向上と異文化理解である。日本では文法や読むことを中心に学んできた為、話す機会が少なかった。アメリカ留学では、自ら積極的に話すことが求められる。また、聞くことが出来なければ、会話は成り立たない。なので、話す聞く分野で特に力をつけるよい機会となる。そのため、コミュニケーション能力の向上を目標とする。

異文化理解の面については、アメリカは様々な文化が共存している社会である。そのため、日本では見たり感じたりできないことがたくさんある。大学内では、多くの国の人と交流することができる。このような機会を無駄にしないように、積極的に行動をすることを目標とする。

4 留学内容

以下から留学の内容を記述する。

留学期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4-1 留学のスケジュール

留学期間中のスケジュールは以下のとおりである。

月	日(曜日)	午前	午後
8	23(水)		到着・入寮
	25(金)	EPクラス分けテスト	EP・ポーリング
	28(月)	EP1stセメスタースタート(毎週月~木)	
	31(木)		アメリカンフットボール観戦
9	10(日)	EP・activity(メジャーリーグ観戦)	
	13(水)		Meet conversation partner
	16(土)		Meet conversation partner
	22(金)	EP・activity(ジェファーソンシティ)	
	26(火)	EP・activity(映画)	
10	3(火)	Final exam	
	4(水)	Final exam	
	5(木)		Meet activity buddies
	6(金)		Meet conversation partner
	7(土)	Japan Festival	
	8(日)		EP・activity(ミュージカル)
	9(月)	EP2ndセメスタースタート(毎週月~金)	
11	12(日)		ML leagues(バドミントン)
	20(月)~	Thanksgiving trip	
	24(金)	Black Friday	
12	4(月)	Final exam	
	5(火)	Final exam	
	6(水)	Ceremony	
	7(木)	TOEIC	

1st セメスター (level6)

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday
9:00~10:50	Reading	Communication	Reading	Communication
11:00~12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar
1:00~1:50	Lunch Break			
2:00~2:50	Accent	Seminar in Am	Accent	Seminar in Am
3:00~3:50	Am. History	USA and Japan	Am. History	USA and Japan
4:00~4:50	TOEIC		TOEIC	conversation

2nd セメスター (level7)

	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday
9:00~10:50	Reading	Communication	Reading	Communication	
11:00~12:50	Writing	Grammar	Writing	Grammar	Weekly Check
1:00~1:50	Lunch Break				
2:00~2:50	Accent	Seminar in Am	Accent	Seminar in Am	
3:00~3:50	American History	USA and Japan	Writing LAB	Grammar LAB	
4:00~4:50	TOEIC		TOEIC		

4-2 留学の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

・Reading

1st セメスターでは、教科書を用いて長文を読み最後に自分の考えを書いたり、問いに答えたりすることが主な内容である。わからない単語の意味を調べることが課題として出される。2nd セメスターでは、本を1冊読み各章ごとに理解できなかった場面や、自国の文化と一致するところや異なるところを、クラス全員もしくはグループで話し合った。

・Writing

セメスターごとにエッセイを1つ書き上げる。引用のやり方や文献探しを学ぶ。また、timed writing という授業内の30分でエッセイを書くものが3回あった。

・Accent

大学内にあるクリニックで発音を学んだ。5~6名程度のグループに先生が2人つき、アクセントや正しい発音を教えてくれる。

・American History

本を用いて、アメリカの歴史を学んだ。使う本も絵本だったり、各生徒に役割を割り振って当時の仕組みを学ぶため、非常に分かりやすかった。

・TOEIC

パートごとに、解くときのコツを学んだ。グループで座るため、友達同士で教えあうことが出来る。

・Communication

セメスターごとにプレゼンを2回行った。1つはグループプレゼンで、もう1つは個人プ

レゼンを行う。プレゼンの構成のやり方やアイコンタクトや時間管理、ジェスチャーを学んだ。

- Grammar

教科書を用いて、主に文法を学んだ。課題には journal が出される。これは、授業で学んだ文法を用いて1ページ分出されたお題について書く。

- Seminar in America

アメリカの歴史について学んだ。また、IEP activity としていろいろな活動があった。留学のスケジュールに書いてあるとおり、州都に行ったり、ミュージカルや映画を見たりした。

- USA and Japan

グループになり第二次世界大戦を日本とアメリカの各視点からの考えをプレゼンした。その他にも、日本とアメリカの異なる部分を学んだ。

- Weekly check

2ndセメスターでは、thanksgiving と被るため、寮が閉まる。その際の手続きのやり方や帰国に関する様々な連絡をうけた。

- Writing Lab

Writing の授業と同じ。

- Grammar Lab

Grammar の授業と同じ。

- Conversation Partner

Conversation Partner と呼ばれる学生が1~2人に対して1人つく。Conversation Partner と会う時間は設けてあったが個人でパートナーと連絡をとり、会うことのほうが多かった。

- Activity Buddies

Activity Buddy と呼ばれる学生が5~6人に対して1人つく。各グループで何をするか決める。

- IM Leagues

様々なスポーツ大会に参加できる。IM Leagues のホームページでアカウントを作り、参

加費を払う必要がある。優勝するとTシャツがもらえる。

- Thanksgiving Trip

Thanksgiving 期間中に各自で計画を立てて旅行に行くことが出来る。

- Ceremony

IEP の生徒のみを対象とした卒業パーティーである。先生から卒業証書が渡された。

5 当初の目的・目標への達成度

今回の留学の目的の達成度について、それぞれまとめる。

- i) コミュニケーション能力の向上

留学当初は、相手が何を言っているのか理解できず、何度も曖昧な返事をしていた。また、授業中も先生の指示が分からず、クラスメイトに聞くことが多かった。だが、徐々に英語を聞き取ることが出来るようになり、相手と会話が成り立つようになった。授業でも、先生の指示が分かるようになり、授業にちゃんとついていけるようになった。その点では、コミュニケーション能力の向上は出来たと考える。

- ii) 積極的に行動する

クラス内では、クラスメイトと仲良くなれるように積極的にしゃべりかけた。そのおかげで、特に韓国人のリア、ミア、ダニエラ、パキスタン人のサマンと仲良くなることが出来た。彼女たちと一緒にご飯を食べたり、相手から話しかけてもらえるようになった。また、クラス外でも、体育館で一緒にバドミントンをし、色々な国の人と仲良くなることが出来た。よって、積極的な行動により多くの人と交流出来たと考える。

6 おわりに一反省・課題

約4カ月の留学はとても充実したものとなった。中でも、他国の人と一緒に英語で授業を受け、英語でコミュニケーションをとることはとても有意義な経験となった。今回学んだことを生かしてさらなる英語力の向上や異文化理解について知識を深め、将来の夢に繋げたい。

7 謝辞

今回、セントラルミズーリ州立大学にて丁寧な指導をしてくださった Valerie Heming さん、Jill Thomas さん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の夏期セミナー担当で2017年度前期の授業、夏季セミナーの現地サポート、帰国後の各種活動への指導を賜りました、藤本先生、矢口先生、小林伊織先生には心より感謝いたします。最後に、本新潟国際情報大学からいただきました奨学金により、本セミナー参加が実現し、有意義な体験ができたことを、心から感謝いたします。

付録:留学日誌

8月31日(木)

- ・アメリカンフットボール観戦
(場所) キャンパス内のスタジアム
(移動) 徒歩

具体的内容及び所感



アメリカで盛んな競技のため盛り上がり
が凄かった。しかし、ルールが分からず何が起
きているのか分からない場面が多々あった。
少し、ルールを知ってから見るほうがより楽
しめたと考える。赤がチームカラーのため、
たくさんの人が赤色の服を着ていた。

9月10日(日)

- ・IEP activity:メジャーリーグ観戦
(場所) カンザスシティカウフマンスタジアム
(移動) バス

具体的内容及び所感



カンザスシティの野球チームであるロイヤル
ズの試合を見に行った。メジャーリーグを生
で見ることの出来る貴重な機会だった。スタ
ジアム内にはロイヤルズの商品を売っている
お土産屋さんがたくさんあった。

9月22日(金)

- IEP activity: ジェファーソンシティ
(場所) ジェファーソンシティ
(移動) バス

具体的内容及び所感



ミズーリ州の州都であるジェファーソンシティの国会議事堂に行った。中には、壁画のすごい部屋や国会議事堂の歴史について話を聞いた。

12月6日(水)

- Ceremony
(場所) キャンパス内
(移動) 徒歩

具体的内容及び所感



先生から1人ずつ卒業証書もらった。IEPのクラスメイトとお世話になった先生方とお別れのためたくさん写真をとった。この留学の経験は一生忘れられないものとなった。また、女子はドレス、男子はスーツを着ていた。少し寒いので羽織るものがあったほうが良い。